



はじめておいしい

マルシマ

2013年 11月号

マルシマカレンダー

11

日	月	火	水	木	金	土
		1	2			
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

12

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

満月＆新月カレンダー

新月●11月3日(日) 満月●11月18日(月)

今月のトピックス

新商品のご案内

ホッとするね
有機ココアきな粉

今年もシーズン到来!!

マルシマのしおが湯

知っておきたい 放射能の正しい知識

シリーズ 森羅万象の旅

○×△コラム

【迫り来る脅威】

若杉友子さん講演会レポート



新商品

有機きな粉

有機カカオ豆

有機黒糖

香り高い有機ココアと
有機きな粉、有機黒糖を
ブレンドしました。有機
ココア
きな粉
ホッとするね有機大豆 100% の
きな粉と有機ココア、
有機黒糖をブレンドした
マイルドで
コクのある美味しい
飲み物です。

お召し上がり方いろいろ…



HOTでも ICEでも



●原材料／有機大豆(遺伝子組換えでない)、有機黒糖、有機ココアパウダー

商品コード	商品名・JANコード	内容量	入数	価格(本体価格)	賞味期間
2377	ホッとするね 有機ココアきな粉 JANコード 4906657 237706	180g	20	662円 (630円)	10ヶ月

◎仕様変更

メーカー名	商品名	内容量	変更内容	実施時期
マルシマ	有機畑のきな粉	120g	・価格変更 旧価格 210(200)円 ⇒ 新価格 252(240)円 ・有機大豆の原料産地変更 中国産 ⇒ アメリカ産	2014年 1月4日より
	有機黒ごま入りきな粉	120g	・価格変更 旧価格 389(370)円 ⇒ 新価格 420(400)円 ・有機大豆の原料産地変更 中国産 ⇒ アメリカ産	2014年 1月4日より
竹本油脂	太白ごま油	1400g	・価格変更 旧価格 1,995(1,900)円 ⇒ 新価格 2,100(2,000)円	2013年 11月1日より
	太白ごま油	450g	・価格変更 旧価格 788(750)円 ⇒ 新価格 840(800)円	2013年 11月1日より
	太香ごま油	1400g	・価格変更 旧価格 1,995(1,900)円 ⇒ 新価格 2,100(2,000)円	2013年 11月1日より
	太香ごま油	450g	・価格変更 旧価格 788(750)円 ⇒ 新価格 840(800)円	2013年 11月1日より
青い海	粗びき塩胡椒	75g	・150gの袋タイプと表示の整合性を図るため表示変更 一括表示『新原材料』食塩、胡椒 ・一部文言変更 ※商品の仕様に変更はございません。	在庫消化後

今年もシーズン到来!!

マルシマのしょうが湯

健康の基本は冷やさないこと!

最近の夏バテは、暑さに負けたバテだけではなく、冷房や冷たい飲み物、アイスクリームなどで、身体を冷やしすぎてしまったことが原因のバテも多いようです。

マルシマの生姜湯は東洋思想の陰陽論により本来陰性である生姜を十分に熱を加えて乾燥させ、「より陽性の生姜」にすることから始まっています。また「一物全体食」の考え方より、生姜を皮ごとすりおろして使用することで、皮や繊維に有效成分の7割があると言われている生姜の力を余すことなく引き



しております。従ってショウガオールは十分に含まれていると考えています。

寒さで冷えた冬のカラダにやさしい『温かいしょうが湯』を年中通してご愛飲ください。

好評販売中!!

花梨入り しょうが湯



箱入(20g×18)
1,187円

袋入(20g×5)
347円

しょうが湯



箱入(20g×18)
1,082円

しょうが湯(有機生姜使用)



箱入(20g×12)
798円

My Ginger Stick
マイジンジャー スティック



オリゴしょうが湯



箱入(15g×16)
998円

袋入(15g×6)
399円

生姜紅茶



箱入 80g(16袋)
893円

あずきちゃんしょうが湯



箱入(15g×12)
924円



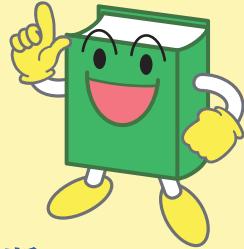
袋入(15g×4)
336円

マイ☆ジンジャー
スティック
袋入(6g×5)
315円

マイ☆ジンジャー
大麦若葉
袋入(5g×5)
315円

表示の価格は税込価格です。

知って
おきたい!



◆放射能の正しい知識◆

放射線被曝のしくみ

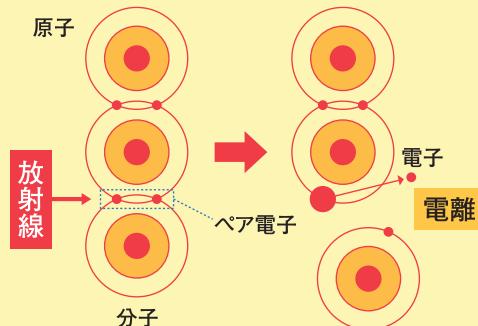
放射線の危険は分子切断

放射線が人の身体に当たると、**身体を構成し、いのちの機能を果たしている組織(分子)**を切斷します。分子は原子と原子が結びついて出来ています。原子を結びつけているのは原子の外側にある対(つい)になった電子です。放射線はその電子をはじき飛ばしてしまうのです。

分子を切斷する放射線被害には二つのタイプがあります。一つは切斷されることそのものによる被害です。高線量でたくさんの分子が切斷される場合は、たちまち生命機能が働かなくなり、**急性症状**が出てきます。脱毛、下痢、紫斑、出血などです。**分子切斷が多量の場合は死にいたります。**また、分子が切られると全てが元通りに戻らないので、慢性的な免疫力低下、健康不良が現れます。原爆ぶらぶら病がそれです。もう一つは切られた分子が修復される過程で現れる、**間違って再結合してしまうことによる危険**です。切斷された分子が遺伝子だった場合、正常に再結合する場合もありますが、切斷が密集して行なわれると、遺伝子が組み替えられたり細胞が死滅したりします。低線量と言われる場合でも、放射性微粒子を吸い込んだり、飲食で体内にとり込む内部被曝でこの危険が増大します。異常再結合が数十回繰り返されると、がんなどの**晩発性疾患**が生じたり、体調不良に陥る危険が生じます。その組み替えられた遺伝子の不安定さを子孫に伝えることがあるのです。

「内部被曝し続けている今　いのちを守るために」より　監修:矢ヶ崎克馬　編集:子どもと地球の未来・ノーベクレル

■電離と分子切斷



シリーズ 森羅万象の旅

(株)地湧社の書籍

きねしげ しげざね 実重 重実 著「森羅万象の旅」よりその一部を転載しています。

3 カンブリア紀の爆発④

けつがん

カナダのバージェス頁岩から出土する化石群は、この点について大きな問題を提起している。バージェス頁岩の層の丘は延々と10キロメートルも続き、その中から六億年前のカンブリア紀の動物化石が続々と出てくる。その分析から得られた知識によると、進化は徐々にゆっくりと進行するという通説とは逆に、カンブリア紀の5~6000万年の間に、現存するあらゆる動物群のタイプが一挙に、かつ急速に揃ったということがわかつてきただ。5~6000万年という、地質学的には僅かな期間だ。

バージェス頁岩の動物群には、節足動物、軟体動物など現存するあらゆる体制が整っているばかりでなく、現在の動物からは分類できないようなものも多い。

現在では、この古生物学上の発見が定説として認められている。そして、短期間のうちに多様な動物群が登場したために「カンブリア紀の爆発」と称されるようになった。

古生物学者グールドによると、カンブリア紀にあらゆるタイプの動物が揃った後で、天変地異などによって生物の大量絶滅が繰り返された。その中で生き残ってきたのが、現存の生物群だというのだ。

生物は少しずつゆっくりと進化するのではなくて、特定の時期に飛躍的に進化したことが明らかになってきたのである。



O×△コラム 【迫り来る脅威】

仏映画『世界が食べられなくなる日』を観た。IAEAやWHOなどの世界的機関や政府の大手メーカー寄り、あるいは重大なリスクを軽視した経済最優先の政策を批判し、動物実験による検証や被害想定などをして核エネルギー、遺伝子組換え作物を推進する政策を覆そうとするドキュメンタリーであった。最後に20年後には私たちの意見が正しかったと証明される。と結んでいたがそうなることを切に祈りたい。

映画の中でジュネーブのWHO本部前で「未来の子供たちのために」と『反核』を掲げて抗議をしているお年寄り達の傍を子供の集団が通り過ぎた。その子供達を見る老婦人の包み込むような優しい眼差しが心に残った。子を思う気持ちは世界共通なのだ！

ともぞう

「食べ物を変えれば 人生が変わる」

～若杉友子さん講演会を聴いて～

● 9月28日、尾道産業会館にて食養研究家・若杉友子さん(通称:若杉ばあちゃん)の講演会を開催しました。初めてお顔を拝見した感想は笑顔のかわいい、化粧つけのないたくましいおばあちゃん。身近にいる75歳と比べると腰が曲がっておらず、しっかりと伸びて、シャキシャキと歩く元気な人。「ああ、今日はどんなお話をさせていただけるのだろう」と、お姿を拝見した私の期待値はうなぎ上りです。

「あんたたちねえ、食べ過ぎなのよ」という一言から始まった若杉さんの講演会は終始、為になる内容の連続で拝聴した後も考えさせられる内容でした。

まず、興味を持ったのはマコモというイネ科の植物のお話です。このマコモですが、浄化作用が非常に強く、これを乾燥させて粉末状にしたものをお風呂に入るとお湯が全く汚れないというほどの浄化作用を持っている植物らしいのです。ある日、若杉さんの家を赤ちゃん連れのご夫婦が訪れました。(このご夫婦は若杉さんの著書を読み実践して子宝に恵まれたそうです)。そして何の気なしに赤ちゃんにマコモダケ(10月頃にできる茎の肥大化した部分で筍の様になる)を持たせると一心にそれに吸い付いたそうです。ご両親や若杉さんが取り上げようすると、ひっしと握って離さずマコモダケの中心部分が空洞になるまで吸い続けたそうです。

「赤ちゃんはね、本能的に分かったんだろうね。これは身体にいい物だって」と若杉さんは仰いました。

マコモは食物纖維が豊富でビタミンB1・B2・カルシウム・鉄などのミネラルを含み、消化を促進し、腸内の善玉菌を増やして慢性疾患を予防、血圧や血糖値の低下、免疫力の強化などに有効といわれています。

縄文時代より絶滅せず、現代にも生きる「マコモ」は生命力の強い神聖な野草として秘めたパワーがたくさんあるようです。

● 次号へつづく

商品部 平光貴一



若杉友子さん

